

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市通町児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3	指定期間	平成27年4月1日から平成32年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 22,137人（前年度比 93.7%） 平成28年度 23,634人 平成27年度 26,958人 平成26年度 29,181人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 26,565千円 （ 24,598千円） ・ その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 （ 0千円） ・ その他収入 0千円 （ 0千円）
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。</p>

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。また、利用者のけがの状況・処置等を詳細に記録する「傷病記録」を作成し、保護者への説明にも活用している。	S
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だけの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	S
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、年間10回発行の児童クラブ通信や日々のやりとりの中で、子どもたちの遊びや生活の様子を伝え、保護者との情報共有・連携を図っている。中高生の居場所作りを目的とした「中高生タイム」を新たに設け、遊戯室や集会室等の開放を中学校や館外掲示で知らせ、広く利用を呼びかけている。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>地域連携のもと、子どもが地域社会に関わり、主体的に行事へ参画し、遊びを通して自己実現できる取組みを年間を通して行った。</p> <p>○児童健全育成 「こどものまち」や映画会に子どもが自由に参加し、小学4年生以上の子どもボランティアが年間を通して活動するなど子ども自身が自主的に参画出来た。また子どもの居場所を拡充し、毎日「中高生タイム」を設け、遊戯室や図書・集会室を開放した。「じどうかんまつり」では、多くの地域の方々や保護者、乳幼児親子から小～高校生にご参加いただき、世代を越えともに楽しむ事業となった。</p> <p>○地域交流 梅ジュース、干し柿作り、味噌パーティ、餅つきなどを子育て支援クラブや社会福祉協議会と連携して実施した。特に、遊びでつながる町づくり「てらまちフェスタ」は、町内会を含む地域の18団体が参加し、中学生による伝統文化の披露や、企業や保育園、地域包括支援センターの新たな参加など、小中学校、地域との連携を深め地域に根ざした交流の場となっている。</p> <p>○子育て支援 地域子育て拠点事業と並行して、0歳児の会、ほっとサロン、親子で楽しむびよびよ広場、幼児クラブ、おはなし会を実施した。昨年度呼びかけた近隣の保育所幼稚園との交流が5園に増え、日常的な児童館の施設利用や事業への参加につながり、逆に保育園の行事にもお声がけいただくなど、情報交換や子育て支援の地域連携を一步進めることができた。</p> <p>○児童クラブ 学校や家庭環境など子どもが抱える背景を丁寧に受け止め、子どもが安心して過ごせる生活・遊びの場作りを目指した。法人で実施する支援サポートや研修会での学び・情報も活用し、環境整備やきめ細やかな日々の対応を心掛けた。保護者会のあり方をアンケートや懇談を通して刷新し、働く親の負担を減らし、共に子育てに向かう関係作りに努めた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>継続した地域とのつながりを大事にしなが、各事業に積極的に取り組んでいる。</p> <p>地域の諸団体が連携して実施する「てらまちフェスタ」は新たな参加団体も増え、遊びを中心として町内会、小中学校、保育園、地域包括支援センター、企業等が集まり、世代間交流・地域交流の機会となっている。</p> <p>子育て支援においては、幼児クラブやおはなし会、体験企画やサロンを定期的に設けるなど、乳幼児の遊びや母親の交流、リフレッシュの場など幅広い活動を提供し、多くの乳幼児親子の利用につながっている。また、子育て支援クラブや地域住民の協力を得て、梅もぎや味噌作り、もちつき等、普段は体験できない活動も行っている。食の伝統を大事にした地域との交流が図られており、評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室